資料　4

（4）次期計画について

（4）_1　これから求められる人材（学習指導要領要・抜粋）

（4）_2　国・県の計画体系図

（4）_3　次期町計画の体系（案）

【資料】

◇ 2040 年以降を見据えた社会情勢 （資料5）

（４）_１．学習指導要領（H29,30年改定）

これから求められる人材（前文・抜粋）

一人一人の児童（生徒）が、

自分のよさや可能性を認識するとともに、

あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、

多様な人々と協働しながら

様々な**社会的変化を乗り越え**、

豊かな人生を切り拓ひらき、

持続可能な社会の 創り手

となることができるようにすることが求められる。

（４）_２．国・県の計画体系図①

国の新たな教育振興基本計画の体系図【概要（抜粋）】（R5～9年度）

計画のコンセプト	今後の教育政策に関する基本的な方針	今後の教育政策の目標と基本施策
１．2040年度以降見据えた持続可能な創り手の育成 ○将来の予測が困難な時代に、未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていく ○社会課題の解決を、経済成長と結び付けてイノベーションにつなげる取組、一人一人の生産性向上等による、活力ある社会の実現に向けて「人への投資」が必要 ○Society5.0で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成	**①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成**	1．確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成 2．豊かな心の育成 3．健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成 4．グローバル社会における人材育成 5．イノベーションを担う人材育成 6．主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成 7．多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂 8．生涯学び、活躍できる環境整備 9．学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上 10．地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進 11．教育DXの推進・デジタル人材の育成 12．指導体制・ICT環境の整備、教育研究基盤の強化 13．経済的状況、地理的条件によらない質の高い学びの確保 14．NPO・企業・地域団体等との連携・協働 15．安全・安心で質の高い教育研究環境の整備、児童生徒等の安全確保 16．各ステークホルダーとの対話を通じた計画策定・フォローアップ
２．日本社会に根差したウェルビーイングの向上 ○多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるための教育の在り方 ○幸福感、学校や地域でのつながり、利他性、協働性、自己肯定感、自己実現等が含まれ、協調的幸福と獲得的幸福のバランスを重視 ○日本発の調和と協調（Balance and Harmony）に基づくウェルビーイングを発信	**②誰一人取りされず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進**	
	③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	
	④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進	
	⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話	

（４）_２．国・県の計画体系図②

高知県教育振興基本計画（R2～R5）

基本理念（目指すべき人間像）の実現に向けた施策の体系図

第３期高知県教育振興基本計画は、Ⅵ-２、Ⅵ-３、Ⅵ-４、Ⅵ-５を除く

基本理念

郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材

学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち

子どもの成長

知・徳・体の調和のとれた生きる力

- 知の分野：学びに向かう力　思考力・判断力・表現力　知識・技能
- 徳の分野：他者と協働する力　自己肯定感・規範意識
- 体の分野：基本的な生活習慣　健やかな体力

６つの基本方針

- Ⅰ チーム学校の推進
- Ⅱ 厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実
- Ⅲ デジタル社会に向けた教育の推進
- Ⅳ 地域との連携・協働
- Ⅴ 就学前教育の充実
- Ⅵ 生涯学び続ける環境づくりと安全・安心な教育基盤の確保

６つの基本方針の実現に向けた施策群

- Ⅰ-１ チーム学校の基盤となる組織力の強化
- Ⅰ-２ チーム学校の推進による教育の質の向上
- Ⅱ-１ 多様な課題を抱える子どもへの支援の充実
- Ⅱ-２ 特別支援教育の充実
- Ⅲ-１ デジタル技術の活用による学びの個別最適化
- Ⅲ-２ 創造性を育む教育の充実
- Ⅳ-１ 中山間地域をはじめとする各地域の教育の振興
- Ⅳ-２ 学校・家庭・地域の連携・協働の推進
- Ⅴ-１ 就学前の教育・保育の質の向上
- Ⅴ-２ 親育ち支援の充実
- Ⅵ-１ 生涯にわたって学び地域社会に生かす環境づくり
- Ⅵ-２ 私立学校の振興　Ⅵ-３ 大学の魅力向上
- Ⅵ-４ 文化芸術の振興と文化財の保存・活用
- Ⅵ-５ スポーツの振興　Ⅵ-６ 児童生徒等の安全・安心の確保

６つの基本方針に関わる横断的な取組

1. 不登校への総合的な対応
2. 学校における働き方改革の推進

（４）_３．次期町計画の体系（案）

次期四万十町教育振興基本計画の体系図【概要】（R6～　）

〇2040年以降を見据えた社会情勢

1. 人口減少・少子高齢化の時代
2. 多様化・グローバル化の時代
3. デジタル化の時代
4. VUCA(変動制・不確実性・複雑性・曖昧性）の時代
5. 人生100年の時代

〇今後、求められる人材

1. 新しい時代にも対応できる資質・能力を育んだ人材
2. 多様な価値観を尊重し、共生社会の実現を目指す人材
3. 生涯にわたり、学び続けることができる人材

【基本理念】
たくましく人間性豊かな人づくり
【目指す人間像】
ふるさとを愛し、志を持ち明るい未来を創る人材の育成

【基本理念】【目指す人間像】を実現する基本方針

基本方針１
自分の良さを認識し、持続可能な社会の創り手となる人づくり

基本方針２
多様性を尊重し、協働しながら豊な地域の創り手となる人づくり

基本方針３
芸術・文化・スポーツ活動を通じた心身共に豊かな人づくり

基本方針４
子どもが健やかに成長できる子育て支援の推進・環境づくり

施策と基本事業

施策１．学校教育の充実

① 確かな学力の育成（知）
② 豊かな心の育成（徳）
③ 健やかな体の育成（体）
④ 教育のDX(ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ)の推進
⑤ 教育施設の整備
⑥ 学校経営体制の強化
⑦ 学校と地域の連携　⑧ 学校適正配置

施策２．生涯学習の推進とスポーツの振興

① 多様な学習活動の推進
② スポーツ・レクレーション活動の推進
③ 郷土文化の継承と創造
④ 芸術文化活動の推進
⑤ 子どもの健全育成の推進
⑥ 地域・家庭・関係機関等との連携活動充実
⑦ 学習環境の向上

施策３．子育ての支援

① 就学前教育の充実
② 子どもを育てやすい環境づくり
③ 放課後の児童の居場所づくり